

はじめ

・ 本をえらんだ  
きっかけ  
・ 読んだ後の  
さいしよの感想  
なまじ

中

\* 1〜3について  
じゆんじよを  
きめて書くと  
いいよ。

1 一番心にのこった  
ことや場面。  
理由もつけて。

2 どう場人物と自  
分をくらべる。  
(にているところや  
ちがうところ)

3 新しく知ったこと  
や大切だと感じ  
たこと。

\* つぎのことを  
書いてもいいね。

○ どう場人物の  
気持ちや行動が  
かわったことへの  
自分の考え。  
○ 作者が伝えたい  
ことは何か。

おわり

・ 本を読む前の  
自分とくらべて  
かわったこと  
・ これから自分に  
生かしたいこと  
など

★さい後に 感想文の題名を考えよう！

読み方「心が動いた場面」にするしを「つけよう」↓↓せんをはったり、メモを取ろう。

- ・わくわくした場面
- ・おどろいた場面
- ・登場人物の印象的な行動
- ・共感した場面
- ・「自分だったら…」と思った場面
- ・印象的なせりふ

書き方①「感想を整理しよう」

しるしをつけた中から、最も心が動いた場面について書こう。



### はじめ

☆本のあらすじ (かんたんに)

☆本との出会い (本の印象)

### なか

☆最も心が動いた場面

- ①どのような場面か
- ②なぜ心に残っているか
- ③心を動かされた人物の言動
- ④気持ちを想像する
- (○は、△な気持ちだったから、□をしたと思う…)
- ⑤自分に置き換える
- (もし、ぼくだったら…)
- ⑥自分の体験を話す
- (ぼくも、前に…)

☆発見したこと

(○を初めて知りました)

☆自分の変化

(読んで、だんだん○○な気持ちになりました)

☆展開、表現の良み

(○の表現が、よく伝わりました。)

☆作者について

(作者が伝えたいこととは…)

### おわり

☆物語全体をまとめる感想

☆ここからの自分の考え・目標

☆この本を紹介する言葉

--	--

書き方② 「原稿用紙に、書いていく」

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題名</li> <li>↓</li> <li>書いた感想文にぴったりの題名をつけよう。</li> <li>感想文を書き終えたら、仕上げに書いて。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題名、名前</li> <li>↓</li> <li>枠の外に書いて。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文</li> <li>↓</li> <li>☆の項目「じ」「」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1行目、1マス空けてから書き始めよう。</li> <li>↓</li> <li>☆の項目「じ」「」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改行</li> <li>↓</li> <li>☆の項目「じ」「」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段落を変えよう。(改行して、1マス下げ)</li> </ul>

文章の書き方を工夫しよう

<p>他のすてきな言葉を使う。</p>	<p>おもしろかったです。</p> <p>↓<u>おなかをかかえて笑ってしまいました。</u></p>
<p>他の言葉を付け足して詳しく書く。</p>	<p>悲しい気持ちになりました。</p> <p>↓<u>悲しくて泣きたい</u>気持ちになりました。</p>
<p>様子が分かりやすいように、例えを入れる。</p>	<p>セミをつかまえた時、とてもうれしかったです。</p> <p>↓セミをつかまえた時、<u>ずっと探していた宝物を見つけたみたい</u>、とてもうれしかったです。</p>

書き終わったら、〇をひけてチェックしよう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字は正しく書けているか。字がぬけていないか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「。」。「」は正しく使えているか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段落に区切って、読みやすくなっているか。1マス下げているか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本の中の文章は、「」を使っているか。(引用しているか)</li> </ul>	

★おうちの人に読んでもらうのも、良いですね。

科学の本(4類)で感想文を書く場合のポイント

- ・ はじめに、何について書かれた本かはっきりさせる。
- ・ 本を読んで知ったことを、自分が先生になった気持ちで書く。
- ・ 自分の経験を書く。 ↓ 見たこと、経験したことがある本を選ぶ。
- ・ わかったこと、それについての感想を書く。

あなたが選んだその本のおもしろさが、みんなに伝わるよう、すてきな言葉をたくさん使いながら感想文に書いて！



ちえとゆう気の持ち主エルマー 三年四組 わたなべれん

この本は、小さい男の子エルマーが、動物たちにとらえられたりゆうを、助けに行くぼうけん物語です。

表紙を見た時、ぼくはこの本を、男の子とライオンがなかよく旅をする物語だと思いました。なぜかという、リボンをつけたライオンの顔がうれしそうに見えたからです。だから、読み始めてみて、エルマーが一人でぼうけんに出る話だと知っておどろきました。

この本の中で一番に残っているのは、エルマーがりゆうを助ける場面です。りゆうをつないでいるつなは、なかなかきれません。だまされたことに気づいておこった動物たちが追いかけてきます。りゆうは、エルマーをせかし続けます。ぼくは、いつ動物たちが川をわたってくるのかと思い、心配でははらしました。

でもエルマーは、あわてませんでした。「じつと、じつとしてるんだよ。いい子だから。まにあうとも。じつとして、たつてておくれよ。」と、りゆうを落ち着かせます。それからもし全部つながきれなかったら、川の反対側にとんで、そこで切ろうとていあんします。

他の場面を読んでいるときも、エルマーが動物たちから上手くにげるたびに、頭が良くてゆう気があるなど感心しました。しかしこの場面では、頭の良さやゆう気はもちろん、エルマーの落ち着いたいどに、ぼくはとてもおどろきました。ぼくだったら、ぜったいにこんなふうにはできません。あせって、手がふるえてしまうと思うし、先のことなんか考えられないと思います。

ちえとゆう気があつて、どんなときでも落ち着いていられるエルマーは、本当にrippだと思えます。

ぼくもエルマーのように、ピンチでもあせらず落ち着いて、行動できるようにになりたいと思いました。

☆本のあらすじ  
かんたんに書こう

☆本の出来さ  
本の最初の印象は？

☆最も心が動いた場面

- ①どのような場面か？
- ②なぜ心に残っているのか？

☆最も心が動いた場面

- ③心が動いた人物の言動

本文の言葉は、「」を使って引用をする。

☆最も心が動いた場面

- ②なぜ心に残っているのか？(感想)
- ⑤自分に置き換える(もし、ぼくだったら)

☆全体をまとめる感想

☆これから自分の考え・目標